

Molhos Maruti: para cada receita, um molho especial. MARUTI www.maruti.com.br

米、鉄鋼・アルミ輸入制限

関税25%と10%、長期間 異例保護策、中国反発

ワシントン共同 トランプ米大統領は1日、鉄鋼とアルミニウムの輸入増が安全保障上の脅威になると断言し、輸入制限を発動する方針を表明した。「鉄鋼に25%、アルミに10%の関税を課す」と述べた。来週に正式決定する。国内産業の保護を目的に約36年ぶりと異なる異例の強硬策に踏み切る。長期にわたって実施する考えだ。

対象国は言及しなかったが、過剰生産した鉄鋼などを安値で輸出し、世界的な価格下落を招いている中国が標的だ。日本も含まれる可能性がある。中国外務省の華春瑩副報道局長は2日、「自国の利益のために他国に損害を押しつけるべきではない」と反発。欧州連合(EU)も報復措置に出る構えで、貿易摩擦の激化が世界経済に悪影響を及ぼす恐れがある。

対象国は言及しなかったが、過剰生産した鉄鋼などを安値で輸出し、世界的な価格下落を招いている中国が標的だ。日本も含まれる可能性がある。中国外務省の華春瑩副報道局長は2日、「自国の利益のために他国に損害を押しつけるべきではない」と反発。欧州連合(EU)も報復措置に出る構えで、貿易摩擦の激化が世界経済に悪影響を及ぼす恐れがある。

羽生選手に国民栄誉賞

ファイギュア五輪連覇 スケート界初

【共同】政府は、韓国・平昌冬季五輪のフィギュアスケート男子で連覇した羽生結弦選手(23)に国民栄誉賞を授与する方針を固めた。菅義偉官房長官が2日の記者会見で、安倍晋三首相が授与検討を指示したと発表した。けがを乗り越えて6年ぶりとなる2大会連続の金メダルを獲得した偉業が、国民に感動を与えたと評価した。実現すれば、スケート界で初めて、冬季五輪の金メダリストとしても初めてとなる。個人としては最年少での受賞となる見通しだ。

政府方針、6年ぶりの偉業

式の日程は調整する。首相は2日の参院予算委員会でも平昌五輪に「羽生選手は2大会連続の金メダルを獲得し、今度の盛り上がりで2020年の東京大会につなげていきたい」と述べた。羽生選手は14年のロシア・ソチ五輪のフィギュアスケートで、日本人男子として五輪史上初

大成建設元常務を逮捕

【共同】リニア中央新幹線の工事を通る談合事件で、大手ゼネコン4社がターミナル駅の新設工事で不正な受注調整をしたとして、東京地検特捜部は2日、独禁法違反(不当な取引制限)の疑いで、大成建設の元常務

煙らさず 美食「名店」紹介

【共同】ミシユランならぬ「ケムラン」(Kuremian) 掲載を目指して、大阪の「名店」紹介。大阪の「名店」紹介。大阪の「名店」紹介。

日銀総裁、緩和継続表明

【共同】政府が統括の人事案を国会に提示した黒田東彦日銀総裁は2日、衆議院選管委員会での所信陳述に臨んだ。デフレ脱却に向け、大規模な金融緩和と路線を維持する考えを表明し、「政府への歩みをサポートし、物価上昇率2%の目標を達成する」と述べた。

韓朝、北朝鮮に特使派遣へ

【ソウル共同】韓国大統領府は1日、文在寅大統領が北朝鮮に特使を派遣する意向を表明したと発表した。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の妹の金与正党第1副部長を特使として韓国に派遣したことへの答礼として、文氏は2日の記者会見で、北朝鮮側で誰が対対応するのか注目されそう

震災被災者「ありがとう」

【共同】「おめでとう」というよりは、ありがとうと言いたい。政府が五輪ファイギュアスケート男子を連覇した羽生結弦選手(23)に国民栄誉賞を授与する方針を固めたことについて、地元宮城県をはじめ東日本大震災の被災地からは喜びと祝福の声が上がった。

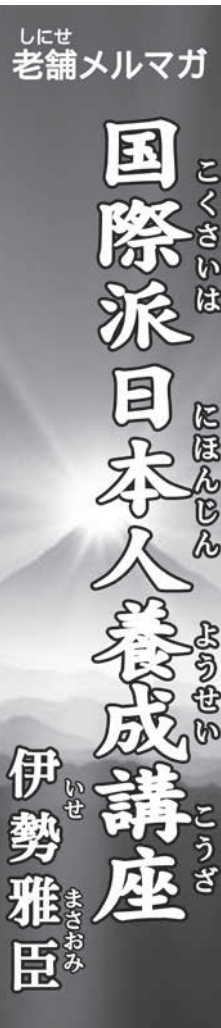
韓朝、北朝鮮に特使派遣へ

【ソウル共同】韓国大統領府は1日、文在寅大統領が北朝鮮に特使を派遣する意向を表明したと発表した。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の妹の金与正党第1副部長を特使として韓国に派遣したことへの答礼として、文氏は2日の記者会見で、北朝鮮側で誰が対対応するのか注目されそう

韓朝、北朝鮮に特使派遣へ

【ソウル共同】韓国大統領府は1日、文在寅大統領が北朝鮮に特使を派遣する意向を表明したと発表した。北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長の妹の金与正党第1副部長を特使として韓国に派遣したことへの答礼として、文氏は2日の記者会見で、北朝鮮側で誰が対対応するのか注目されそう

ALFAINTER TURISMO Visitate nosso site: www.alfainter.com.br. Prezados clientes e parceiros comunicamos que estamos em NOVO ENDEREÇO: Rua GALVÃO BUENO, 33 - Sala 62 Liberdade - SP cep: 01506-000 Tel.11-2187-8989. Venha conhecer o novo espaço e aproveite e tome uma café conosco.



欧州と日本の封建制が近代国民国家を作った

1. 「パリ日本人村の村長」

仕事でパリに来ている。数週間単位で滞在するの、オフィスのある凱旋門から地下鉄で4、5駅離れたところに家具付きのアパートを借りてみた。近くに賑やかな商店街があって、カフェやパン屋、八百屋、肉屋などが並んでいる。

驚いたのは日本食レストランの多いことだ。徒歩5分圏内だけで3軒もある。パソコンで検索してみたら、パリの約1万5千軒のレストランで、「和食」のカテゴリに入っているのが763軒もあった。

一度、昼食にルーブル美術館近くの日本食レストランに入った。フランス人の客だけで満員だった。そこで一番人気は「越前のおろし蕎麦とソースカツ丼小どんぶりのセット」だ。蕎麦もソースカツ丼も本格的な味だった。

戦前からパリに遊んだ日本の芸術家や文人は多いが、パリでこれほど多くの日本食レストランが繁盛し、しかも越前蕎麦まで食べられる時代が来るとは、誰が予想し得たろう。

そのうちの1人、大正2(1913)年にパリに渡った島崎藤村は、河上肇らが彼を頼ってやってくる。下宿を探してやったりして世話を焼いた。やがて藤村は「パリ日本人村の村長」と呼ばれるようになり、彼らを歌劇や音楽会に連れ出しては、学生街のカルチュエ・ラタンで文明論に花を咲かせた。

幸いにしてわが長崎は新嘉坡たることを免れたのだ。それを私は天祐の保全のみ考えたくない。歴史的運命の力にのみ帰したくない。その理由を述べてみる。見ると種々雑多なことがあるけれども、私はその主なるものとしてわが国が封建制度の下にあったことを考えてみたい。実際わが国の今日あるは封建制度の賜物であるともいいた。『1』、P131

2. 欧州諸国の持つ「強い組織的なもの」

藤村は、上海・香港・シンガポール・コロンボ・スエズ運河を経由して約一ヶ月の船旅でマルセイユに着いたのだが、船中の読書に、幕末に洋行した幕臣栗本錦雲の「晩窓追録」を持参していた。栗本錦雲も同じ航路で横浜からマルセイユに渡ったのだが、この間に興味深いことがあった。

それは船が港に入るたびに、現地人の盗みを防ぐために、船の倉庫に鍵を鎖し、船室を閉じ、出入りを厳重にした事である。ただ、横浜とマルセイユだけ

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読んでいない兄弟や子や孫などに記事を紹介してください。

(ニッケイ新聞編集部)

は、船員が船を下りてしまえば、戸が開けばなにもない。なぜ日本とヨーロッパでは盗みがなく、その間の各地の港では厳重に戸締まりをしなければならぬのか。藤村は「ここから考えた内容を、帰国後『エトラゼエ(異邦人)』との対話」と題したエッセイに書いてる。

東洋の方で肝心の港々は大抵今では英吉利のものだ。最初の欧羅巴の航海者なんてものは必ずしも他の国を奪るつもりではなかったんだ。唯、奴らは強いのを一緒に持って行ったんだ。実際、欧羅巴の方へ行くと見ると、強い組織的なものがあるからな。

左様いって強いのを押込んで行くと、組織的でないよ。左様いって強いのを成でも敗けてしま。だからエフ・タウンでも、ダバンでも、コロンボでも、新嘉坡でも、結局強いのが支配するようになつてしま。それが僕らの国の方まで延びて来たんだ。『1』、P126

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

多くの訪日外国人に受け入れられていった。学問的見地から日本が欧州に比較しうる封建制を備えていたという研究は、日本の経済学の草分けと言われる福田徳三によつてなされた。福田は明治31(1898)年にドイツに留学し、ドイツ歴史学派の経済学者ルヨ・ブレンターノに師事した。

ブレンターノは欧州経済史の講義で、後方の席で度々の強い眼鏡をかけた福田が微笑しているのを見て、授業後、なぜ笑っているのかを問うと、福田は「先生が講義される欧州の経済史が、余りに私の祖国日本の歴史に似ておりましたので、ははあ、成程」と納得し、会心の笑みを漏らしたのだと答えた。

「そんな日本は日本の経済史が西欧に似ているというなら、君がいっせよ、日本経済史を書きませんか」とブレンターノに勧められ、その助力を得ながら、ドイツ語で日本経済史の本を書き上げた。この本は西欧の学者に広く読まれ、日本が西欧に類似した封建制を持った国であるとの日本観は、欧米人の間でも広まった。

5. モンゴル軍がなぜ日本と西洋で勝てなかったのか

なぜ封建制が「強い組織的なもの」を生むのか。封建制は欧州では騎士、日本では武士という「武人」が中心の役割を果たすから軍事的に強いという説もある。だが、シナの各王朝も戦乱の中で軍力でのし上がり、天下をとった。だから軍力でのし上がり、天下をとった。だから軍力でのし上がり、天下をとった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。



Matthäus Merian 作「ワールシュタットの戦い」。ワールシュタットの戦いは、1241年、4月9日にモンゴル帝国のユーロップ遠征軍と、ポーランド・ドイツ連合軍が激突した戦いである。ワールシュタットとはドイツ語で「死体の山」を意味する。

北条泰時が中心となって整理し、成文化した「関東御成敗式目」の末尾には、この法体系の基本理念としての「道理」を明白に掲げている。

およそ評定の間、理非に於いては親疎あるべからず、好悪あるべからず。ただ道理を推して、心中の存知、傍輩を憚らず、権門を恐れず、詞を出すべきなり。

(裁判の場にあっては決して依怙屈辱なく、専ら道理に基づいて、傍の目上なる権力者の意圖を恐れることなく信する所を言え)

武人の所領が主君から与えられるというところは、うした強さ以外に、社会の発展を生み出した。それは所領を預かる代わりに、いざという時に生命を掛け、戦う、という相互の信頼に基づいた契約関係を築き上げた。

6. 封建制が法治による近代国民国家の基盤を作った

契約である以上、主君が勝手に家来の所領を取り上げる事は許されず、ここから「権利」という概念が生ずる。同時に、家来の方も戦になつて命惜しさに逃げ出すなどという事は許されず、これが「義務」の概念を生み出す。この義務をいかに見事に果たすか、という所から、武士道や騎士道が生まれた。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

これは建前だけでなく、実際の裁判でも、一方が自分の主張のおかしさに気がついて「これは自分の負けなり」と認めた態度を、泰時が涙みながら褒めた事例も記録されている。物事の道理を「法」として書き表し、争い事でも法と道理に照らして、どちらが正しいかを判断する。これが「法治国家」の基盤である。

一方、皇帝による独裁社会では、臣下の争いはどちらが皇帝に好かれるか、という事で決まってしまう。そこに発達するのは皇帝のおおつか争い互いの足の引張り合いです。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

幕末には大名や武士ばかりでなく、地方の庄屋の息子ですら国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。息子がすなわち国家の行く末に危機感を抱き、奔走した。

「強い組織的なもの」とは、藤村にとって父親の思い出につながる体験的なものだった。

『日本文化』5巻まで同時購入で 195円が160円に 35%割引!

ニッケイ新聞で大好評連載中の「国際派日本人養成講座」を中心に、日本独自の文化や歴史を、日語で解説!

日本文化1 RS35.00 日本文化2 RS40.00 日本文化3 RS40.00 日本文化4 RS40.00 日本文化5 RS40.00

ニッケイ新聞大人気シリーズ!プレゼントにも!

お問い合わせ・販売 詳しくはニッケイ新聞編集部まで ☎(11-3340-6060) 日本各店でも販売中! 地方発送も出来ます!

●太陽堂 (11-3208-6581) ●フォノマギ竹内書店 (11-3104-3399) ●高野書店 (11-3269-3313) ●UMANTY SHOP, SANTA ANITA (11-4472-4522)

国際派日本人養成講座作者 伊勢雅臣氏の厳選シリーズ第3弾!

世界が称賛する日本の経営

1冊1000円リアル 限定販売 残り30冊!

【お問い合わせ】ニッケイ新聞編集部 TEL: (11) 3340-6060

【郵送でのご注文は日系書店まで】

太陽堂 (11)3208-6588 / フォノマギ竹内書店 (11)3104-3399 / 高野書店 (11)3209-3313

国際派日本人養成講座

発行人=伊勢雅臣 (文責)

Mail: ise.masami@gmail.com

Twitter: https://twitter.com/ise_masami

無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/



国際金融資本は中国をつぶせるか ソロスとロックフェラーの場合

国際金融資本が望むなら、彼らは中国の体制を崩壊させることができるのでしょうか？
前号で、こんな記事を紹介しました。←
《中国主席、任期撤廃案：習氏の長期政権に道》読売新聞2/25 (日) 18:44配信
【北京】竹内誠一郎
中国官報通信は25日、中国共産党中央委員会が、「2期10年」と憲法が定める国家主席と国家副主席の任期について、この規定を削除する憲法改正案を、3月5日開幕の全国人民代表大会(全人代)国会に提案すると伝えた。

これ、習近平は、「終身国家主席になる可能性がある」と、この件でいろいろ質問をいただいておられます。前号の最後に、こんなことを書きました。
《全般的には、「私が死ぬまで国家主席をやる」という決意は、中国国家による結果を残さないでしよう。
問題は、欧米や国際金融資本が、「習近平の権力欲は危険だ」という確信するかですね。
彼らが、はつきりそのことを自覚すれば、中国の体制崩壊は速いと思えます》

「ソロス、アメリカは悪！」
「中国は善！」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。

「アメリカは今まさに、そうした誤りを犯している」
「ソロス、12年前に驚くべき発言をしていました。彼は、06年に出版された本『世界秩序の崩壊』で「自分さえよければ社会」への警鐘の中で、アメリカと中国について、その考えを明らかにしています。



国際金融の代表格ジョージ・ソロス(Harald Dettenborn, via Wikimedia Commons)



デビット・ロックフェラー(National Archives and Records Administration [Public domain], via Wikimedia Commons)

メールマガジン「ロシア政治経済ジャーナル」
発行 北野 幸伯
Copyright (C) RPE Journal All Rights Reserved. 358
アドレス変更・解除は
http://www.mag2.com/m/000012950.html

青年部強化、母県文化普及へ

沖縄県人会



前列が青年部(中央が上原さん)、後列が執行部(中央が島袋会長)

ブラジル社会にチムダクルを

総会で110周年事業を報告

ブラジル沖縄県人会の第81回総会と、ブラジル沖縄文化センターの第46回総会が2月25日午前10時から、聖市の県人会本部で同時開催され、遠くは南麻州カンポ・グランデなど約40支部の代表など約90人が参加した。8月3、5日に行なわれる県人移住110周年に向けて青年部の連携強化、一連の行事予定や記念誌発行、聖州内4カ所で開催されるイベントの沖縄文化イベント開催が発表されるなど確実に盛り上がりを見せてきた。

昨年からの横のつながりを強める動きがはじまっている。本部に青年部ができれば加速される。既存のイベントや110周年に協力するだけでなく、いずれは我々が中心になった若者向けイベントを作りたいと抱負を述べた。

110周年では、8月3日の州議会で慶祝式、母県や国外からの賓客と昼食会、知事表敬訪問、4日午前には本部で先駆者慰霊法要、午後はピラ・カロン沖縄祭り会場付近で記念パレード、5日は沖縄文化センターで式典が予定されている。上原テリオ副会長は各年の事業報告と通常行事の予算を読み上げ、特別会計として50万レアルを計上しているとして、200周年は80万レアルに増やしたいと報告した。総会では17年と18年の事業報告と通常行事の予算を読み上げ、特別会計として50万レアルを計上しているとして、200周年は80万レアルに増やしたいと報告した。総会では17年と18年の事業報告と通常行事の予算を読み上げ、特別会計として50万レアルを計上しているとして、200周年は80万レアルに増やしたいと報告した。

両団体のトップを兼任する島袋栄喜会長は本紙取材に対し、「もともと県人会は県系人が親睦を深める、相互扶助をする役割を強く担ってきた。だが世代交代の中で、その役割では若い人が集まらない現実が出てきた。これからの県人会の役割は、ブラジル社会に沖縄文化、チムダクル(助け合い精神)を普及していくこと。それによって国の発展に貢献することだと思ふ。110周年の機にその方針を具体化した」と強調した。

その流れから記念事業の環として、県系人の集住地である聖市、アララ

州アラポンガス市に土地を購入し、珈琲栽培に従事。クリチバ連邦大学を卒業した父・ニコラウさんは、会計士となりマリナガ市に移り住み、そこでジョーさんは生まれ

文協音楽委員会(本田ジョリア委員長)による「第82回文協ドミンゴコンサート」が、11日

だが、保存できる食料品1キログラムが必要。今回は聖市生まれドイツ在住のソプラノ歌手、

クさんは夫をはじめ日本人の友人が多いことに触れ、「日系社会で発表できて本音が伝わる。なるべく大勢の人に来て欲しい」と呼びかけた。

問合せは、文協(11) 3208-1755)まで。

コロナア歌手・平田ジョー

プロミッソンへ特別な思い

ブラジル日本移民110周年記念曲「ありがとらブラジル」をコロナア歌手・平田ジョー昭夫さん(50、三世)が制作している。この曲は、7月中旬に開催される各地の移民110周年記念式典で歌われるが、なかでも7月21日に入植百周年式典が開催されるプロミッソンへの特別な思いを語った。

プロミッソンのゴンザガ区には、38年に日本移民が建設した最初のカトリック教会「クリスト・レイ教会」がある。幕末に大規模な基督教徒迫害が起こり、社会的圧力を受けて移民した福岡県大刀洗町出身の隠れキリシタンの子孫が大半を占めた場所だ。

父・ニコラウさんも居住し、同教会建設に汗を流した。大刀洗町にある村教会堂の図面を基に複製されたといわれる教会の建設にあたっては、教会横に煉瓦を焼くための窯を開き、そこで作られた約15万個のレンガを積み重ね、信者の労働奉仕により完成したという。

州アラポンガス市に土地を購入し、珈琲栽培に従事。クリチバ連邦大学を卒業した父・ニコラウさんは、会計士となりマリナガ市に移り住み、そこでジョーさんは生まれ

伯各地方を渡り歩くジョーさんだが、プロミッソンを初訪問したのは5年前。同地出身者子弟として歌手として活躍する功績を称え、プロミッソン市が名誉市民章を授与。そこで、初めてクリスト

レイ教会を見たという。ジョーさんは「父から話聞いていたが、実際に見て感動した。あの時代にあんな立派な教会を一つ一つの手で作った」と、その1カ月前、息子の成長を見届けたかのように、ニコラウさんは息を引き取った。

94年にNHKのど自慢大会チャンピオンに輝き、当地でプロ歌手として活動を始めたから今年で20年を迎える。「移民の故郷と称されるプロミッソンは、祖父や父にとっても思いが深い場所。今でも自分の胸のなかに生き続けている

【既報関連】ブラジル日本移民110周年記念祭典委員会、眞屋春美祭典委員長は、先月24日に抽選を実施した「移民110周年第一弾リッパ(協力券)」の当選者を、先月28日に開示した。当選者は以下の通り。

▼1等IIエドアルド・ナガトモ、2等IIエレナ・シバ・オハラ、3等IIエドゥアルド・アラシロ、4等II東芝メデイカルド、ブラジル、5等IIアントニオ・カワカミ

義治実行委員長は「トヨタ自動車やファスト・シヨップをはじめ、日系社会の皆様には色々と協力して頂いた。御礼を申し上げます」と謝意を述べた。本田技術研究所からシビックの寄付を受けた第2弾リッパの販売も、来月から開始される見込みだ。

また、第2弾リッパのうち100冊をプロミッソンに付与し、その売上全額を同地の祭典費用に充てる方向で検討している。その額は3万5千レアル。「聖市のためだけに金を集めてはダメ。地方にも協力しなければ」と協力姿勢を示した。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

ドイツのオペラ歌手が歌声披露

ドミンゴコンサート、11日

文協音楽委員会(本田ジョリア委員長)による「第82回文協ドミンゴコンサート」が、11日

だが、保存できる食料品1キログラムが必要。今回は聖市生まれドイツ在住のソプラノ歌手、

クさんは夫をはじめ日本人の友人が多いことに触れ、「日系社会で発表できて本音が伝わる。なるべく大勢の人に来て欲しい」と呼びかけた。

問合せは、文協(11) 3208-1755)まで。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。



プロミッソン名誉市民章を受章した平田ジョーさん

大目小目

袋栄喜会長はその寄稿文の中で「生き残るものも、ない。生き残るものも、その時々時代の变化に、対応できるものしか生き残れない」という言葉を紹介。植物も動物もそう。企業や私たちが通用する柔軟性を求める姿勢は立派なもの。

プロミッソン入植百周年祭典委員会(前田フアビオ実行委員長)は、7月22日の入植百周年式典に、プロミッソンから巣立っていった同郷者やその子弟を招待する予定。聖市在住者も多いため、そのための名簿作成に奔走している。ノリエス・テコンダ文化協会の安永信一会長は「我々が今あるのは先人のおかげ。祭典は全て同郷者を称えるためのもの。名簿の登録に協力をお願いしたい」と呼びかけている。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

問合せは、文協事務局長(3208-1755)まで。

MENTE, SAUDE E SUCESSO

Mude a sua mente para melhorar a sua saúde e alcançar o sucesso!

SÁBADO 10 DE MARÇO ÀS 15H

PALESTRANTE INTERNACIONAL: DR. JIRO IMAI PH. D. Especialista em Farmacologia Professor da Happy Science University

サンパウロ日伯援護協会 リベルダーデ医療センター

日本語で対応します

受付時間 月～金 07:00～19:00 土 07:00～13:00 人間ドック受付 月～金 07:00～16:00

人間ドック、診察と検査(内科及び各種専門科)、歯科各種健康保健取り扱っています(日本の保健各種)日本語の診断書を発行します

Adesão de novos associados 新会員募集 (11) 3274-6523

お問合せ: (11) 3274-6555 ご予約(内科以外の各専門科): (11) 3274-6508 人間ドック: (11) 3274-6495 歯科: (11) 3274-6501

Rua Fagundes, 121 - Liberdade - São Paulo - SP www.enkyo.org.br

サンパウロ日伯援護協会 日伯友好病院

最新設備と専門スタッフを備えた日伯友好病院は真心込めた医療をあなたへお届けします

24時間受付 内科・外科・小児科 整形外科・心臓外科 他

日本語で対応します 各種健康保険取り扱いしています(日本の保健各種)

日伯友好病院行きバスのご案内 地下鉄Tatuapé駅発172X-10 地下鉄Santana駅発271M-10 Dom Pedro II公園発272N-10

101. (11) 2633-2200 Rua Pistoia, 100 - Pq. Novo Mundo - São Paulo www.hospitalnipo.org.br

Vaga para Atendente de Viagens

Requisitos: experiência nível básico em nacional ou internacional, conhecimento em sistema de reservas, vendas de pacote turístico e emissão de bilhete. Interessados ligar para 3346-8249, falar com Márcio.

TUNIBRATRAVEL renovando a realização suas viagens!

憩の園 ASSISTÊNCIA DOM JOSÉ GASPAR CNPJ 61.734.232/01-68 第六十六回定期総会ご案内

会員の皆様には、ますますご清栄のこと、お慶び申し上げます。さて、本年度定期総会を、定款三十六条及び三十七条に基づき下記により開催致すことになりました。下記は、会員の皆様方にはご多忙のこととは存じますが、何卒万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようご案内がたがお願い申し上げます。

記 [日時] 2018年3月10日(土) 午前10時(第2次招集) [場所] 聖市サン・ジョアキン街381番(文協ビル)5階 [議事] 1. 2017年度事業報告と会計報告 2. 2018年度事業計画と予算案の審議 3. 理事、監査役、及び顧問選挙 4. その他

2018年2月28日 社会福祉法人ド・ジョゼ・ガスパール「憩の園」 会長 佐藤直

Política (01/03/2018)

Abe deverá manter reforma trabalhista para profissionais especializados

O premiê japonês Shinzo Abe, enfatizou sua intenção de manter um plano para excluir alguns trabalhadores especializados de alta renda, das regulamentações de horas trabalhadas, num novo projeto de lei de reforma trabalhista. O premiê falava numa sessão de perguntas do comitê orçamentário da Câmara

Alta na quinta-feira, um dia após a Câmara Baixa ter aprovado o projeto orçamentário para o ano fiscal 2018. Kouhei Otsuka, líder do Partido Democrático, da oposição, conclamou Abe a abandonar o plano de excluir alguns profissionais especializados de alta renda, das regulamentações de

horas trabalhadas. Abe respondeu que o plano permitirá estilos flexíveis de trabalho e ajudará a aumentar a produtividade. Abe também prometeu melhorar as medidas de saúde para os trabalhadores relevantes, por meio da imposição de que eles tirem pelo menos 104 dias de folga por ano, acrescentando que seu

plano requer o consentimento do trabalhador, e é limitado aos que ganham no mínimo 100 mil dólares por ano. Na quarta-feira, Abe instruiu o ministro do Trabalho a remover a expansão do sistema de trabalho flexível do esboço do projeto de reforma que planeja submeter à atual sessão do Parlamento.

Economia (02/03/2018)

Taxa de desemprego do Japão chega a nível mais baixo em quase 25 anos

A taxa de desemprego do Japão caiu para o seu nível mais baixo em quase um quarto de século. Segundo o governo, no mês de janeiro, a taxa ficou em

2,4%. Isto representa uma queda de 0,3 ponto percentual em relação ao mês anterior, e a taxa mais baixa desde de abril de 1993. Em janeiro, mais de 65 mi-

lhões de pessoas estavam empregadas, um aumento de 920 mil pessoas em relação ao mesmo período no ano anterior. Funcionários dizem que a

indústria manufatureira lidera a tendência, com uma produção maior de automóveis, chips e smartphones.

Mulheres de conforto (01/03/2018)

Presidente da Coreia do Sul fala sobre questão das chamadas mulheres de conforto

O presidente da Coreia do Sul adotou uma linguagem dura ao falar sobre o Japão durante um discurso no feriado nacional que celebra a resistência ao domínio colonial japonês. O presidente Moon Jae-in ressaltou a questão das chamadas mulheres de conforto

do período da guerra. Nas palavras de Moon "não cabe ao governo japonês dizer que a questão das 'mulheres de conforto' foi resolvida, quando foi ele que cometeu o crime. A palavra 'resolvida' não deveria ser usada para crimes contra a humanidade cometidos

durante a Segunda Guerra Mundial". O presidente sul-coreano disse que a relação entre os dois países deveria ser baseada no arrependimento e reconciliação. Ele não pediu que o Japão faça qualquer coisa específica. Após a declaração de Moon,

o governo japonês apresentou um protesto à Coreia do Sul por canais diplomáticos. O secretário-chefe do Gabinete, Yoshihide Suga, pediu que Seul implemente um acordo firmado entre os dois países em 2015 para resolver a questão de maneira final e irreversível.

Comentário (28/02/2018)

Os efeitos da redução da maioria legal no Japão

O governo japonês pretende apresentar durante a atual sessão parlamentar seu projeto de reforma do código civil. A ideia é reduzir a maioria legal de 20 para 18 anos de idade. Além disso, acredita-se que leis relacionadas com a questão também serão revistas. Isso incluiria permitir que pessoas com 18 ou 19 anos de idade assinem contratos de empréstimos ou se casem sem precisar do consentimento dos responsáveis. Mesmo assim, a idade mínima legal para se beber álcool, fumar tabaco ou apostar em jogos de azar legalizados, como corrida de cavalos, deve continuar inalterada: 20 anos de idade. Além do mais, não se tomou nenhuma decisão quanto a mudanças no estatuto japonês da criança e do adolescente. No Comentário de hoje, vamos ouvir Michiko Miyamoto, vice-reitora da Uni-

versidade Aberta do Japão. Ela vai nos falar sobre os objetivos da mudança da maioria legal. Miyamoto já foi membro do painel do Ministério da Justiça dedicado à questão da redução da maioria legal. Ela diz: "Os jovens japoneses estão cada vez mais perdendo o interesse pela sociedade e por questões sociais. Isso é algo comum entre os jovens deste país. Eles pensam que a sociedade é uma coisa gigantesca, e que não interessa o que digam ou façam, eles jamais vão alterar essa realidade. Esta tendência precisa ser mudada. Desde as eleições de dois anos atrás, a idade mínima para se votar foi reduzida para 18 anos. Para acabarmos com este desinteresse, é importante que os jovens se envolvam diretamente na sociedade. Existem receios quanto à redução da maioria legal. Por exemplo, teme-se

que o número de jovens vítimas de fraudes contra o consumidor possa aumentar. Quando se atinge a maioria, as pessoas podem assinar contratos mesmo sem o consentimento dos pais. E se ele ou ela perceber depois que o contrato é prejudicial, a princípio nada pode ser feito. E não são apenas questões relacionadas com o consumidor. Muitas questões têm a ver especialmente com os jovens: saúde, moradia e emprego. Usando as escolas como plataformas, além de outras estratégias, espero que tenhamos locais onde os jovens possam se consultar e ter acesso a informações e a ajuda necessárias para que eles possam entrar na sociedade. Também me preocupa o estatuto da criança e do adolescente. Está sendo discutido se um infrator ao completar 18 anos de idade deve ser colocado em uma prisão, sendo assim tratado

como um adulto. A questão ainda continua em aberto. Acredito que, a longo prazo, um tratamento educacional seria mais eficaz para evitar a reincidência. Os governos central e locais têm painéis que discutem temas relacionados com o futuro dos jovens. Contudo, estes painéis são formados por pessoas mais velhas, e a voz dos mais jovens não chega até eles. A falta de espaço para que os jovens possam ser ouvidos também significa que eles não têm oportunidades para treinar como manifestar suas opiniões. No Japão, é muito forte na sociedade a cultura do sistema da senioridade. São poucas as chances que os mais jovens têm para expressar ativamente suas opiniões. Espero que a redução da maioria legal acabe com este hábito e ajude a cultivar a nova geração."



Estas notícias são produzidas pela NHK WORLD RÁDIO JAPÃO. nhk.jp/portuguese

Comentário (01/03/2018)

Começa a temporada de recrutamento de estudantes universitários

Muitas companhias começaram, nesta quinta-feira, o processo de recrutamento de alunos que estão entrando no quarto ano do curso superior em abril deste ano para se formar nas universidades japonesas em março de 2019. Espera-se que a demanda por jovens formando continue alta em meio à falta de trabalhadores no Japão. Dizem que a competição entre as companhias que querem empregar esses jovens está se intensificando.

corporações, e continuam buscando empregos nessas empresas. Os empregadores de empresas menores estão manifestando dificuldade em encontrar candidatos. Segundo uma pesquisa, um número crescente de alunos aceita ofertas informais de trabalho de várias companhias e decidem no final que emprego vão aceitar. Esta atitude estaria dando trabalho às companhias.

Hoje, para o Comentário, conversamos com Yuki Honda, professora da Faculdade de Pós-Graduação em Educação da Universidade de Tóquio, sobre os desafios enfrentados pelo processo de busca de empregos no Japão. Ela estuda as atividades realizadas pelos estudantes neste processo empregatício. Honda diz: "A partir do dia primeiro de março as companhias têm permissão para convidar universitários a participarem dos eventos de recrutamento. Os empregadores podem dar início a atividades de análise dos candidatos no dia primeiro de junho. Este sistema segue diretrizes éticas sobre atividades de recrutamento definidas pela Federação de Negócios do Japão, ou Keidanren, juntamente com uma organização universitária.

Eu já falei várias vezes sobre a irracionalidade deste sistema de recrutamento coletivo, e ao mesmo tempo, feito no Japão. Ele geralmente apresenta dois problemas: a época e a metodologia ou regulamento do sistema. A época é problemática porque iniciar o recrutamento mais de um ano antes da formatura dos alunos tira a oportunidade que eles teriam de serem avaliados de acordo com suas notas finais na universidade.

O número de formandos em universidades começou a cair devido à queda na taxa de natalidade do Japão. A procura por recém-formados é grande entre companhias devido à falta de trabalhadores, por isso o mercado empregatício é favorável aos estudantes. Segundo analistas, há uma nova tendência entre algumas companhias de entrar em contato com os estudantes bem antes do dia primeiro de março, para programas de estágio, numa tentativa de segurar os candidatos o quanto antes. Dizem que muitos alunos foram contratados através desses programas de estágio, que servem como um teste de emprego. Além disso, muitos estudantes preferem as grandes

As companhias adotam padrões de recrutamento ambíguos, fazendo que os candidatos preencham formulários múltiplos de empregos, realizem testes de aptidão e vocação, e realizem várias entrevistas para mostrar suas personalidades. Este método é um desperdício tanto para as companhias como para os universitários. Eu gostaria que os empregadores oferecessem as vagas depois que tivessem avaliado detalhadamente o conhecimento e as habilidades adquiridas pelos candidatos no ensino superior, depois que eles terminassem suas teses e trabalhos de graduação. Contudo, o que vejo é uma tendência crescente, entre empregadores, de dar início ao processo de recrutamento ainda mais cedo, para segurar os candidatos que eles consideram capazes, de acordo com seus próprios padrões. Recomendo, com veemência, que esta prática seja alterada."

Aplicativos gratuitos da NHK WORLD
TV em inglês em 24 horas
NHK WORLD TV
*Para iOS, Android e Amazon Fire